

東海大学 各研究科・専攻における受入れ可能人数及び履修登録期間

1. 各研究科・専攻における受入れ可能人数

研究科名	専攻名	修士・博士課程前期	博士課程後期	備 考
文学研究科	文明研究専攻	若干名	若干名	湘南キャンパス
	史学専攻	若干名	若干名	
	日本文学専攻	若干名	若干名	
	英文学専攻	若干名	若干名	
	コミュニケーション学専攻	若干名	若干名	
	観光学専攻	若干名		
政治学研究科	政治学専攻	若干名	若干名	
経済学研究科	応用経済学専攻	若干名	若干名	
法学研究科	法律学専攻	5名	3名	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	若干名		
芸術学研究科	音響芸術専攻	若干名		
	造型芸術専攻	若干名		
体育学研究科	体育学専攻	若干名	若干名	
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	若干名		
理学研究科	数理科学専攻	若干名		伊勢原キャンパス
	物理学専攻	若干名		
	化学専攻	若干名		
工学研究科	電気電子工学専攻	若干名		
	応用理化学専攻	若干名		
	建築土木工学専攻	若干名		
	機械工学専攻	若干名		
	医用生体工学専攻	若干名		
海洋学研究科	海洋学専攻	若干名		静岡キャンパス

東海大学 各キャンパス所在地

湘南キャンパス 神奈川県平塚市北金目4丁目1番1号

- 小田急線東海大学前駅下車 徒歩約15分
- JR東海道線 平塚駅下車 東海大学行き、または秦野行きバス(約30分)にて東海大学正門前下車 徒歩約5分で南門に到着

静岡キャンパス 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

- JR東海道線 清水駅下車 三保ランド行き、三保車庫行き
または三保灯台行きバス(約20分)にて東海大学・国立海員学校前下車 徒歩約2分

2. 東海大学 履修受付期間

学期	履修登録期間
春学期	2025年3月10日(月)～14日(金)
秋学期	2025年9月1日(月)～5日(金)

履修希望の場合は、所属大学の担当部署へご相談のうえ、本学担当部署にご連絡ください。

文 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■文明研究専攻

(博士課程前期)

文明理論研究 1－1 および文明研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グナ レ ン バ ー	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レ ン バ ー	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
理論系科目	500	文明理論研究 1－1		○	2	1				ヨーロッパ地域研究	500	ヨーロッパ文明研究 1－1		×	2	1			
	500	文明理論研究 1－2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 1－2		×	2			1	
	500	文明理論研究 2－1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究 2－1		×	2	1			
	500	文明理論研究 2－2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 2－2		×	2			1	
	600	文明理論演習 1－1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究 3－1		×	2	1			
	600	文明理論演習 1－2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 3－2		×	2			1	
	600	文明理論演習 2－1		×	2	1					600	ヨーロッパ文明演習 1－1		×	2	1			
	600	文明理論演習 2－2		×	2			1			600	ヨーロッパ文明演習 1－2		×	2			1	
											600	ヨーロッパ文明演習 2－1		×	2	1			
比較研究	500	比較文明学研究－1		×	2	1				ヨーロッパ地域研究	600	ヨーロッパ文明演習 2－2		×	2			1	
	500	比較文明学研究－2		×	2			1			600	ヨーロッパ文明演習 3－1		×	2	1			
	600	比較文明学演習 1		×	2	1					600	ヨーロッパ文明演習 3－2		×	2			1	
	600	比較文明学演習 2		×	2			1											
現代文明研究	500	現代文明論研究 1－1		×	2	1				日本地域研究	500	日本文明研究 1－1		×	2	1			
	500	現代文明論研究 1－2		×	2			1			500	日本文明研究 1－2		×	2			1	
	600	現代文明論演習 1－1		×	2	1					500	日本文明研究 2－1		×	2	1			
	600	現代文明論演習 1－2		×	2			1			500	日本文明研究 2－2		×	2			1	
科学・技術研究	500	科学論・技術論研究－1		×	2	1					500	日本文明研究 3－1		×	2	1			
	500	科学論・技術論研究－2		×	2			1			500	日本文明研究 3－2		×	2			1	
	600	科学論・技術論演習 1		×	2	1					600	日本文明演習 1－1		×	2	1			
	600	科学論・技術論演習 2		×	2			1			600	日本文明演習 1－2		×	2			1	
	500	科学史・技術史研究 1		×	2	1					600	日本文明演習 2－1		×	2	1			
	500	科学史・技術史研究 2		×	2			1			600	日本文明演習 2－2		×	2			1	
	600	科学史・技術史演習 1		×	2	1					600	日本文明演習 3－1		×	2	1			
	600	科学史・技術史演習 2		×	2			1			600	日本文明演習 3－2		×	2			1	
アジア地域研究	500	アジア文明研究 1－1		×	2	1				アメリカ地域研究	500	アメリカ文明研究 1－1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 1－2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 1－2		×	2			1	
	500	アジア文明研究 2－1		×	2	1					500	アメリカ文明研究 2－1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 2－2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 2－2		×	2			1	
	500	アジア文明研究 3－1		×	2	1					500	アメリカ文明研究 3－1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 3－2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 3－2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 1－1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 1－1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 1－2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 1－2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 2－1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 2－1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 2－2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 2－2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 3－1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 3－1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 3－2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 3－2		×	2			1	
ゼミナール科目											700	文明研究法A		○	1	1			
											700	文明研究法B		○	1			1	
											700	文明研究法C		○	1	1			
											700	文明研究法D		○	1			1	

2025年度カリキュラム表

■文明研究専攻

(博士課程後期)

文明研究法 2-1、2-2 を必修とし、併せて 40 単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2025年度カリキュラム表

■史学専攻

(博士課程前期)

史学理論研究 1、2、および史学研究法 A、B、C、D を必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
史学概論	500	史学理論研究 1		○	2	1				西洋史講義	600	西洋史学特殊研究 A-1		×	2	1			
	500	史学理論研究 2		○	2			1			600	西洋史学特殊研究 A-2		×	2			1	
日本史講義											600	西洋史学特殊研究 B-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 A-1		×	2	1					600	西洋史学特殊研究 B-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 A-2		×	2			1			600	西洋史学特殊研究 C-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 B-1		×	2	1					600	西洋史学特殊研究 C-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 B-2		×	2			1			600	西洋史学特殊研究 D-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 C-1		×	2	1					600	西洋史学特殊研究 D-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 C-2		×	2			1											
	600	日本史学特殊研究 D-1		×	2	1					600	西洋史学文献研究 A-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 D-2		×	2			1		600	西洋史学文献研究 A-2		×	2			1		
	600	日本史学特殊研究 E-1		×	2	1				600	西洋史学文献研究 B-1		×	2	1				
日本史原書講読	600	日本史学特殊研究 E-2		×	2			1		600	西洋史学文献研究 B-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 A-1		×	2	1				600	西洋史学文献研究 C-1		×	2	1				
	600	日本史学文献研究 A-2		×	2			1		600	西洋史学文献研究 C-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 B-1		×	2	1				600	西洋史学文献研究 D-1		×	2	1				
	600	日本史学文献研究 B-2		×	2			1		600	西洋史学文献研究 D-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 C-1		×	2	1				600	考古学特殊研究 A-1		×	2	1				
	600	日本史学文献研究 C-2		×	2			1		600	考古学特殊研究 A-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 D-1		×	2	1				600	考古学特殊研究 B-1		×	2	1				
	600	日本史学文献研究 D-2		×	2			1		600	考古学特殊研究 B-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 E-1		×	2	1				600	考古学特殊研究 C-1		×	2	1				
東洋史講義	600	日本史学文献研究 E-2		×	2			1		600	考古学特殊研究 C-2		×	2			1		
	600	東洋史学特殊研究 A-1		×	2	1				600	考古学特殊研究 D-1		×	2	1				
	600	東洋史学特殊研究 A-2		×	2			1		600	考古学特殊研究 D-2		×	2			1		
	600	東洋史学特殊研究 B-1		×	2	1				600	考古学研究 (演習) A-1		×	2	1				
	600	東洋史学特殊研究 B-2		×	2			1		600	考古学研究 (演習) A-2		×	2			1		
	600	東洋史学特殊研究 C-1		×	2	1				600	考古学研究 (演習) B-1		×	2	1				
	600	東洋史学特殊研究 C-2		×	2			1		600	考古学研究 (演習) B-2		×	2			1		
	600	東洋史学特殊研究 D-1		×	2	1				600	考古学研究 (演習) C-1		×	2	1				
東洋史原書講読	600	東洋史学特殊研究 D-2		×	2			1		600	考古学研究 (演習) C-2		×	2			1		
	600	東洋史学文献研究 A-1		×	2	1				600	考古学研究 (演習) D-1		×	2	1				
	600	東洋史学文献研究 A-2		×	2			1		600	考古学研究 (演習) D-2		×	2			1		
	600	東洋史学文献研究 B-1		×	2	1				700	史学研究法 A		○	1	1				
	600	東洋史学文献研究 B-2		×	2			1		700	史学研究法 B		○	1			1		
	600	東洋史学文献研究 C-1		×	2	1				700	史学研究法 C		○	1	1				
	600	東洋史学文献研究 C-2		×	2			1		700	史学研究法 D		○	1			1		
	600	東洋史学文献研究 D-1		×	2	1													
600	東洋史学文献研究 D-2		×	2			1												

(日本文学研究コース)
演習4単位および日本文学研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、日本語教育学コースの科目について、8単位を限度として本コースにおける修了要件の単位として認める。

(日本語教育学コース)
日本語教育学研究法A、B、C、Dおよび日本語教授法研究1-1・1-2・2-1・2-2の4科目、日本語教授法演習1-1・2を必修とし、日本語学1-1・1-2・2-1・2-2・3-1・3-2のうち4科目、かつ特論を3科目以上選択し、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、日本文学研究コースの科目について、8単位を限度として本コースにおける修得要件の単位として認める。

分野・領域	グナ レン バー ド	授 業 科 目	受入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分 野・ 領 域	グナ レン バー ド	授 業 科 目	受入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
日本語学の基礎	500	日本語学１－１		×	2	1			言語と社会		600 国際関係特論－１		×	2	1				
	500	日本語学１－２		×	2		1				600 国際関係特論－２		×	2			1		
	500	日本語学２－１		×	2	1													
	500	日本語学２－２		×	2		1												
	500	日本語学３－１		×	2	1					600 社会言語学特論		×	2	1		1		
	500	日本語学３－２		×	2		1				600 日本語研究特論－１		×	2	1				
日本語教育学の基礎	500	日本語教授法研究１－１		×	2	1			応用研究		600 日本語研究特論－２		×	2			1		
	500	日本語教授法研究１－２		×	2		1			600 日本語教育研究特論		×	2				1		
	500	日本語教授法研究２－１		×	2	1													
	500	日本語教授法研究２－２		×	2		1												
	600	日本語教授法演習－１		×	2	1			ゼミ科目		700 日本語教育学研究法A		×	1	1				
										700 日本語教育学研究法B		×	1				1		
	600	日本語教授法演習－２		×	2		1				700 日本語教育学研究法C		×	1	1				
				×	2		1				700 日本語教育学研究法D		×	1				1	

2025年度カリキュラム表

■日本文学専攻

(博士課程後期)

日本文学研究法 2-1、2-2 を必修とし、博士課程前期の単位と併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2025年度カリキュラム表

■英文学専攻

(博士課程前期)

演習科目 8 単位、英文学研究法 A、B、C、D の 4 単位合計 12 単位を必修とし、併せて 30 単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2025年度カリキュラム表

■ 英文学専攻

(博士課程後期)

英文学研究法2単位を必修とし、併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。なお修士課程・博士課程前期で修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものについては、20単位まで博士課程後期の単位に含ませることができる。

分野・領域	グラ ン ド ー 1	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グラ ン ド ー 1	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
近代英文学	800	近代英文学研究 2-1		×	2	1				応用言語学	800	応用言語学 2-1		×	2	1			
	800	近代英文学研究 2-2		×	2		1				800	応用言語学 2-2		×	2			1	
	800	近代英文学演習 2-1		×	2	1													
	800	近代英文学演習 2-2		×	2		1												
現代英文学	800	現代英文学研究 2-1		×	2	1				古典文学	800	古典文学研究 1		×	2	1			
	800	現代英文学研究 2-2		×	2		1				800	古典文学研究 2		×	2			1	
	800	現代英文学演習 2-1		×	2	1					800	古典文学演習 1		×	2	1			
	800	現代英文学演習 2-2		×	2		1				800	古典文学演習 2		×	2			1	
中世英文学	800	中世英文学研究 2-1		×	2	1				英文学表現	800	英文学表現論 1		×	2	1			
	800	中世英文学研究 2-2		×	2		1				800	英文学表現論 2		×	2			1	
	800	中世英文学演習 2-1		×	2	1													
	800	中世英文学演習 2-2		×	2		1												
アメリカ文学	800	アメリカ文学研究 2-1		×	2	1				英語教育学	800	英語教育学研究 2-1		×	2	1			
	800	アメリカ文学研究 2-2		×	2		1				800	英語教育学研究 2-2		×	2			1	
	800	アメリカ文学演習 2-1		×	2	1					800	英語教育学演習 2-1		×	2	1			
	800	アメリカ文学演習 2-2		×	2		1				800	英語教育学演習 2-2		×	2			1	
英語学	800	英語学研究 2A-1		×	2	1				コミュニケーション学ゼミナール科目	800	コミュニケーション学研究 2-1		×	2	1			
	800	英語学研究 2A-2		×	2		1				800	コミュニケーション学研究 2-2		×	2			1	
	800	英語学演習 2A-1		×	2		14				800	コミュニケーション学演習 2-1		×	2	1			
	800	英語学演習 2A-2		×	2			14			800	コミュニケーション学演習 2-2		×	2			1	
	800	英語学研究 2B-1		×	2	1													
	800	英語学研究 2B-2		×	2		1												
	800	英語学演習 2B-1		×	2		14			800	英文学研究法 2-1		○	1	1				
	800	英語学演習 2B-2		×	2			14		800	英文学研究法 2-2		○	1			1		

(博士課程前期)

修了要件) コミュニケーション研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果を指導教員を通じて研究科長に提出し、その審査あるいは最終試験に合格すること。

ただし、臨床心理学コース基幹科目の全て、ならびに臨床心理学コース専門科目のうち「投影法特論」、「学校臨床心理学特論」、「グループ・アプローチ特論」、「臨床心理地域支援実習1」「臨床心理地域支援実習2」については、臨床心理学コースを専攻する学生のみが履修できるものとする。

【臨床心理士資格に関する科目の履修方法】 臨床心理学コースを専攻する学生で臨床心理士志望者は、資格基準規定にしたがって以下の通り履修すること。臨床心理学コース基幹科目のすべて、臨床心理学コース専門科目のうち臨床心理士受験資格に必要な選択必修科目群A群に属する「心理統計法特論」「心理学研究法特論」から1科目以上、B群に属する「人格心理学特論」「発達心理学特論」「教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)」から1科目以上、C群に属する「社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)」、「家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)」、「犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)」から1科目以上、D群に属する「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)」、「心身医学特論」、「神経心理学特論」、「障害児者心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)」から1科目以上、E群に属する「投影法特論」、「学校臨床心理学特論」、「グループ・アプローチ特論」、「臨床心理地域支援実習1」「臨床心理地域支援実習2」から1科目以上履修すること。

【公認心理師資格に関する科目の履修方法】 臨床心理学コースを専攻する学生で公認心理師志望者は、公認心理師となるために必要な科目として、「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)」、「障害児者心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)」、「教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)」、「犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)」、「社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)」、「臨床心理査定実習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)」、「臨床心理面接特論(心理支援に関する理論と実践)」、「家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)」、「心の健康教育に関する理論と実践」、「心理実践実習」を履修すること。

分野・領域	グラ ンレ ーバ ード	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	(開講期間 (1週当りのコマ数))			分 野・ 領 域	グラ ンレ ーバ ード	授 業 科 目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	(開講期間 (1週当りのコマ数))		
						春 学 期	集 中	秋 学 期							春 学 期	集 中	秋 学 期
ゼミナール科目	700	コミュニケーション研究法A		○	1	1			臨床心理学 コース 基幹科目	500	臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）		x	2	1		
	700	コミュニケーション研究法B		○	1		1			500	臨床心理査定演習2		x	2		1	
	700	コミュニケーション研究法C		○	1	1				500	臨床心理基礎実習1		x	2	2		
	700	コミュニケーション研究法D		○	1		1			500	臨床心理基礎実習2		x	2		2	
コース共通	600	コミュニケーション論特殊研究A		x	4	2				500	臨床心理基礎実習2		x	2		2	
	600	コミュニケーション論特殊研究B		x	4	2				500	心理実践実習		x	10	集中		
	600	コミュニケーション論特殊研究C		x	4	2				500	臨床心理実習1		x	2	2		
	600	コミュニケーション論特殊研究D		x	4	2				500	臨床心理実習2		x	2		2	
メディア学コース	600	媒体研究特殊講義1		x	4	2			臨床心理学 コース 専門科目	600	心理統計法特論		x	2		1	
	600	媒体研究特殊講義2		x	4		2			600	心理学研究方法特論		x	2	1		
	600	広報・広告研究特殊講義1		x	4	2				600	教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）		x	2	1		
	600	広報・広告研究特殊講義2		x	4		2			600	発達心理学特論		x	2	1		
	600	グローバルメディア研究特殊講義1		x	4	2				600	人格心理学特論		x	2	1		
	600	グローバルメディア研究特殊講義2		x	4		2			600	神経心理学特論		x	2		1	
	600	ジャーナリズム研究特殊講義1		x	4	2				600	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）		x	2			14
	600	ジャーナリズム研究特殊講義2		x	4		2			600	社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）		x	2	1		
社会学コース	600	社会変動論特殊講義1		x	4	2				600	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）		x	2	1		
	600	社会変動論特殊講義2		x	4		2			600	障害児者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）		x	2	1		
	600	現代社会論特殊講義1		x	4	2				600	投影法特論		x	2			14
	600	現代社会論特殊講義2		x	4		2			600	グループ・アプローチ特論		x	2	1		
	600	社会学研究演習1		x	4	2				600	学校臨床心理学特論		x	2		1	
	600	社会学研究演習2		x	4		2			600	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		x	2		1	
	600	社会心理学特殊講義A		x	2	1				600	臨床心理地域文援実習1		x	2	2		
	600	社会心理学特殊講義B		x	2		1			600	臨床心理地域支援実習2		x	2		2	
	600	社会心理学研究演習A		x	2	1				600	心の健康教育に関する理論と実践		x	2	1		
	600	社会心理学研究演習B		x	2		1										
臨床基幹心理学コ	500	臨床心理学特論1		x	2	1				600	臨床心理面接特論2		x	2		1	
	500	臨床心理学特論2		x	2		1			600	臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践）		x	2	1		
	500	臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践）		x	2	1				600	臨床心理地域文援実習1		x	2	2		
	500	臨床心理面接特論2		x	2		1			600	臨床心理地域支援実習2		x	2		2	

2025年度カリキュラム表

■ コミュニケーション学専攻

(博士課程後期)

コミュニケーション研究法2-1、2-2を必修（1年次）とし、博士課程前期の単位と併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

■ 観光学専攻
(修士課程)

[illegible]

政 治 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 政治学専攻

(博士課程前期)

研究指導教員が担当する専門分野の「研究講義1・2」と「研究演習1・2・3・4」、並びに「英書政治学研究1・2」という必修科目10単位に加えて、研究指導教員以外の教員が担当する講義科目を22単位、合計32単位以上を修得し（コースを横断して履修することも可能）、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グナ レン バ ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レン バ ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
政治学 研究 コ ー ス 演 習	700	政治学研究演習 1	×	2	1				国際政治学 研究 コ ー ス 演 習	700	国際政治学研究演習 1	×	2	1			
	700	政治学研究演習 2	×	2			1			700	国際政治学研究演習 2	×	2			1	
	700	政治学研究演習 3	×	2	1					700	国際政治学研究演習 3	×	2	1			
	700	政治学研究演習 4	×	2			1			700	国際政治学研究演習 4	×	2			1	
政治学 研究 コ ー ス 講 義 科 目	600	政治学研究講義 1	×	2	1				国際政治学 研究 コ ー ス 講 義 科 目	600	国際政治学研究講義 1	×	2	1			
	600	政治学研究講義 2	×	2			1			600	国際政治学研究講義 2	×	2			1	
	600	日本政治史研究講義 1	×	2	1					600	国際政治史研究講義 1	×	2	1			
	600	日本政治史研究講義 2	×	2			1			600	国際政治史研究講義 2	×	2			1	
	600	西洋政治史研究講義 1	×	2	1					600	現代地域研究（アジア）講義 1	×	2	1			
	600	西洋政治史研究講義 2	×	2			1			600	現代地域研究（アジア）講義 2	×	2			1	
	600	西洋政治思想史研究講義 1	×	2	1					600	国際関係理論特論 1	×	2	1			
	600	西洋政治思想史研究講義 2	×	2			1			600	国際関係理論特論 2	×	2			1	
	600	政治過程研究講義 1	×	2	1												
600	政治過程研究講義 2	×	2			1											
地方行政 研究 コ ー ス 演 習	700	地方行政研究演習 1	×	2	1				共通 科 目	500	英書政治学研究 1	○	2	1			
	700	地方行政研究演習 2	×	2			1			500	英書政治学研究 2	○	2			1	
	700	地方行政研究演習 3	×	2	1												
	700	地方行政研究演習 4	×	2			1										
地方行政 研究 コ ー ス 講 義 科 目	600	地方行政研究講義 1	×	2	1												
	600	地方行政研究講義 2	×	2			1										
	600	行政学研究講義 1	×	2	1												
	600	行政学研究講義 2	×	2			1										
	600	都市政策研究講義 1	×	2	1												
	600	都市政策研究講義 2	×	2			1										
	600	情報政策特論 1	×	2	1												
	600	情報政策特論 2	×	2			1										

2025年度カリキュラム表

■ 政治学専攻

(博士課程後期)

研究指導教員が担当する専門分野の「研究講義3・4」と「研究演習5・6・7・8・9・10」の必修科目10単位に加えて、研究指導教員以外の教員が担当する講義科目を4単位、合計14単位を修得し（コースを横断して履修することも可能）、博士課程前期修得単位数を合わせて46単位以上を修得するとともに、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グナ レ ー バ ー	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レ ー バ ー	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
政治学 研究 コ ー ス 演 習	800	政治学研究演習 5	×	1	1				国際政治学 研究 コ ー ス 演 習	800	国際政治学研究演習 5	×	1	1			
	800	政治学研究演習 6	×	1			1			800	国際政治学研究演習 6	×	1			1	
	800	政治学研究演習 7	×	1	1					800	国際政治学研究演習 7	×	1	1			
	800	政治学研究演習 8	×	1			1			800	国際政治学研究演習 8	×	1			1	
	800	政治学研究演習 9	×	1	1					800	国際政治学研究演習 9	×	1	1			
	800	政治学研究演習10	×	1			1			800	国際政治学研究演習10	×	1			1	
政治学 研究 コ ー ス 講 義 科 目	800	政治学研究講義 3	×	2	1				国際政治学 講義科目 研究 コ ー ス	800	国際政治学研究講義 3	×	2	1			
	800	政治学研究講義 4	×	2			1			800	国際政治学研究講義 4	×	2			1	
	800	西洋政治史研究講義 3	×	2	1					800	国際政治史研究講義 3	×	2	1			
	800	西洋政治史研究講義 4	×	2			1			800	国際政治史研究講義 4	×	2			1	
	800	西洋政治思想史研究講義 3	×	2	1												
	800	西洋政治思想史研究講義 4	×	2			1										
	800	政治過程研究講義 3	×	2	1												
	800	政治過程研究講義 4	×	2			1										
地方行政 研究 コ ー ス 演 習	800	地方行政研究演習 5	×	1	1				地方行政 研究 コ ー ス 講 義 科 目	800	地方行政研究演習 5	×	1	1			
	800	地方行政研究演習 6	×	1			1			800	地方行政研究演習 6	×	1			1	
	800	地方行政研究演習 7	×	1	1					800	地方行政研究演習 7	×	1	1			
	800	地方行政研究演習 8	×	1			1			800	地方行政研究演習 8	×	1			1	
	800	地方行政研究演習 9	×	1	1					800	地方行政研究演習 9	×	1	1			
	800	地方行政研究演習10	×	1			1			800	地方行政研究演習10	×	1			1	
地方行政 研究 コ ー ス 講 義 科 目	800	地方行政研究講義 3	×	2	1				地方行政 研究 コ ー ス 講 義 科 目	800	地方行政研究講義 3	×	2	1			
	800	地方行政研究講義 4	×	2			1			800	地方行政研究講義 4	×	2			1	
	800	行政学研究講義 3	×	2	1					800	行政学研究講義 3	×	2	1			
	800	行政学研究講義 4	×	2			1			800	行政学研究講義 4	×	2			1	
	800	都市政策研究講義 3	×	2	1					800	都市政策研究講義 3	×	2	1			
	800	都市政策研究講義 4	×	2			1			800	都市政策研究講義 4	×	2			1	

經 濟 學 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 応用経済学専攻

(博士課程前期)

基本研究分野が経済学コースの学生は、「経済学基礎研究A」および「経済学基礎研究B」を必修とし、経営学コースの学生は、「経営学基礎研究A」および「経営学基礎研究B」を必修とする。さらに、コースにかかわらず、全学生が「研究方法基礎論A（論文）」および「研究方法基礎論B（実証）」を必ず履修しなければならない。これらの必修科目に加えて、各自が専攻する専門科目2科目を1年次に、また「応用経済学演習」2科目を2年次に履修しなければならない。
本研究科での学位を取得するには、上記の必修科目とその他の選択科目を含めて、合わせて30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

分野・領域	グナ レン バ ド ー	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レン バ ド ー	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎系科目	500	経済学基礎研究A	×	2	1				理論系科目	600	経営理論研究1	×	2	1			
	500	経済学基礎研究B	×	2			1			600	経営理論研究2	×	2			1	
	500	経営学基礎研究A	×	2	1												
	500	経営学基礎研究B	×	2			1										
	500	研究方法基礎論A（論文）	○	2	1												
	500	研究方法基礎論B（実証）	○	2			1										
情報系科目	600	経済・経営情報研究1	×	2	1				経営システム	600	経営システム研究A1	×	2	1			
	600	経済・経営情報研究2	×	2			1			600	経営システム研究A2	×	2			1	
理論系科目	600	経済理論研究1	×	2	1				現代企業論	600	経営システム研究B1	×	2	1			
	600	経済理論研究2	×	2			1			600	経営システム研究B2	×	2	1			1
経済政策	600	経済政策研究1	×	2	1				現代企業論	600	現代企業研究A1	×	2	1			
	600	経済政策研究2	×	2			1			600	現代企業研究A2	×	2			1	
経済システム	600	経済システム研究A1	×	2	1				財務・会計	600	現代企業研究B1	×	2	1			
	600	経済システム研究A2	×	2			1			600	現代企業研究B2	×	2			1	
経済理論応用分野	600	応用経済学研究A1	×	2	1				国際関連分野	600	会計・財務研究A1	×	2	1			
	600	応用経済学研究A2	×	2			1			600	会計・財務研究A2	×	2			1	
	600	応用経済学研究B1	×	2	1				演習	600	会計・財務研究B1	×	2	1			
	600	応用経済学研究B2	×	2			1			600	会計・財務研究B2	×	2			1	
	600	経済システム研究B1	×	2	1				演習	600	国際経済・経営研究A1	×	2	1			
	600	経済システム研究B2	×	2			1			600	国際経済・経営研究A2	×	2			1	
	600	応用経済学研究A1	×	2	1				演習	600	国際経済・経営研究B1	×	2	1			
	600	応用経済学研究A2	×	2			1			600	国際経済・経営研究B2	×	2			1	
	600	応用経済学研究B1	×	2	1				演習	700	応用経済学演習1	○	2	1			
	600	応用経済学研究B2	×	2			1			700	応用経済学演習2	○	2			1	

2025年度カリキュラム表

■ 応用経済学専攻

(博士課程後期)

全ての博士課程後期の学生は、基本研究分野のコースに関わらず各自が「先端研究」の2科目を1年次に履修し、「応用経済学先端演習1」を2年次に、「応用経済学先端演習2」を3年次にそれぞれ2科目ずつ必ず履修しなければならない。本研究科で博士の学位を取得するには、その他の科目と合わせて、48単位以上を修得し、博士論文審査ならびに最終試験に合格しなければならない。ただし、本専攻の博士課程前期修了者にあつては、当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものにつき、30単位までを上記の必要単位数（48単位以上）に含めることができる。

分野・領域	グナ レ ン バ ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レ ン バ ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
理論系科目	800	経済理論先端研究 1	×	2	1				経営システム	800	経営システム先端研究 1	×	2	1			
	800	経済理論先端研究 2	×	2			1			800	経営システム先端研究 2	×	2			1	
	800	経営理論先端研究 1	×	2	1												
	800	経営理論先端研究 2	×	2			1										
情報関連分野	800	経済・経営情報先端研究 1	×	2	1				現代企業論	800	現代企業先端研究 1	×	2	1			
	800	経済・経営情報先端研究 2	×	2			1			800	現代企業先端研究 2	×	2			1	
経済政策	800	経済政策先端研究 1	×	2	1				財務・会計	800	会計・財務先端研究 1	×	2	1			
	800	経済政策先端研究 2	×	2			1			800	会計・財務先端研究 2	×	2			1	
経済システム	800	経済システム先端研究 1	×	2	1				国際関連分野	800	国際経済・経営先端研究 1	×	2	1			
	800	経済システム先端研究 2	×	2			1			800	国際経済・経営先端研究 2	×	2			1	
経済理論応用分野	800	応用経済学先端研究 1	×	2	1				演習	800	応用経済学先端演習 1 (1)	○	2	1			
	800	応用経済学先端研究 2	×	2			1			800	応用経済学先端演習 1 (2)	○	2			1	
										800	応用経済学先端演習 2 (1)	○	2	1			
										800	応用経済学先端演習 2 (2)	○	2			1	

法 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 法学専攻

(博士課程前期)

研究指導教員の担当する法学演習 1～4（計 8 単位）を必修として修得するほか、開講科目から24単位以上（総計32単位）を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。なお、研究指導教員の指導と研究科長の承認を得たうえで、法学部開講の法学に関する専門科目の中から選択履修することもできる（最大10単位まで）。

分野・領域	グナ レ ン バ ド ↓	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レ ン バ ド ↓	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎科目	500	法学特殊講義 1		×	2	1				社会科学	500	知的財産権法第一特講 1		×	2	1			
	500	法学特殊講義 2		×	2			1			500	知的財産権法第一特講 2		×	2			1	
基礎法学	500	基礎法学第一特講 1		×	2	1					500	知的財産権法第二特講 1		×	2	1			
	500	基礎法学第一特講 2		×	2			1			500	知的財産権法第二特講 2		×	2			1	
	500	基礎法学第二特講 1		×	2	1				社会科学	500	社会法第一特講 1		×	2	1			
	500	基礎法学第二特講 2		×	2			1			500	社会法第一特講 2		×	2			1	
公法学	500	憲法第一特講 1		×	2	1					500	社会法第二特講 1		×	2	1			
	500	憲法第一特講 2		×	2			1			500	社会法第二特講 2		×	2			1	
	500	憲法第二特講 1		×	2	1				国際法学	500	国際法第一特講 1		×	2	1			
	500	憲法第二特講 2		×	2			1			500	国際法第一特講 2		×	2			1	
	500	行政法第一特講 1		×	2	1					500	国際法第二特講 1		×	2	1			
	500	行政法第一特講 2		×	2			1			500	国際法第二特講 2		×	2			1	
	500	行政法第二特講 1		×	2	1				外国法分野	500	外国法特講 1		×	2	1			
	500	行政法第二特講 2		×	2			1			500	外国法特講 2		×	2			1	
	500	税法第一特講 1		×	2	1				演習科目	600	法学演習 1 A		×	2	1			
	500	税法第一特講 2		×	2			1			600	法学演習 1 B		×	2	1			
	500	税法第二特講 1		×	2	1					600	法学演習 2 A		×	2			1	
	500	税法第二特講 2		×	2			1			600	法学演習 2 B		×	2			1	
刑事法学	500	刑事法第一特講 1		×	2	1				ゼミナール科目	700	法学演習 3		○	2	1			
	500	刑事法第一特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	刑事法第二特講 1		×	2	1				ゼミナール科目	700	法学演習 3		○	2	1			
	500	刑事法第二特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	刑事法第三特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	刑事法第三特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
民事法学	500	民法第一特講 1		×	2	1				ゼミナール科目	700	法学演習 3		○	2	1			
	500	民法第一特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	民法第二特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	民法第二特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	民法第三特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	民法第三特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	商法第一特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	商法第一特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	商法第二特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	商法第二特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	民事訴訟法第一特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	民事訴訟法第一特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	
	500	民事訴訟法第二特講 1		×	2	1					700	法学演習 3		○	2	1			
	500	民事訴訟法第二特講 2		×	2			1			700	法学演習 4		○	2			1	

2025年度カリキュラム表

■ 法学専攻

(博士課程後期)

研究指導教員の担当する法学研究演習3～6（計8単位）を必修として修得するほか、開講科目から40単位以上（総計48単位）を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、博士課程前期修了者にあつては当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものについて、32単位までを上記必修修得単位に含めることができる。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授業科目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授業科目	受入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
法 哲 学	800	法哲学特殊研究 1		×	2	1				商 法 学	800	商法第一特殊研究 1		×	2	1			
		法哲学特殊研究 2		×	2			1			800	商法第一特殊研究 2		×	2			1	
憲 法 学	800	憲法第一特殊研究 1		×	2	1				知 的 財 産 権 法 学	800	商法第二特殊研究 1		×	2	1			
		憲法第一特殊研究 2		×	2			1			800	商法第二特殊研究 2		×	2			1	
		憲法第二特殊研究 1		×	2	1					800	知的財産権法特殊研究 1		×	2	1			
		憲法第二特殊研究 2		×	2			1			800	知的財産権法特殊研究 2		×	2			1	
行 政 法 学	800	行政法特殊研究 1		×	2	1				労 働 法 学	800	労働法特殊研究 1		×	2	1			
		行政法特殊研究 2		×	2			1			800	労働法特殊研究 2		×	2			1	
租 税 法 学	800	税法特殊研究 1		×	2	1				国 際 法 学	800	国際法第一特殊研究 1		×	2	1			
		税法特殊研究 2		×	2			1			800	国際法第一特殊研究 2		×	2			1	
刑 事 法 学	800	刑事法第一特殊研究 1		×	2	1					800	国際法第二特殊研究 1		×	2	1			
		刑事法第一特殊研究 2		×	2			1			800	国際法第二特殊研究 2		×	2			1	
		刑事法第二特殊研究 1		×	2	1				法 社 会 学	800	法社会学特殊研究 1		×	2	1			
		刑事法第二特殊研究 2		×	2			1			800	法社会学特殊研究 2		×	2			1	
		刑事法第三特殊研究 1		×	2	1				演 習 科 目	800	法学研究演習 1 A		×	2	1			
		刑事法第三特殊研究 2		×	2			1			800	法学研究演習 1 B		×	2	1			
民 法 学	800	民法特殊研究 1		×	2	1					800	法学研究演習 2 A		×	2			1	
		民法特殊研究 2		×	2			1			800	法学研究演習 2 B		×	2			1	
民 事 訴 訟 法 学	800	民事訴訟法第一特殊研究 1		×	2	1				ゼ ミ ナ ー ル 科 目	800	法学研究演習 3		○	2	1			
		民事訴訟法第一特殊研究 2		×	2			1			800	法学研究演習 4		○	2			1	
		民事訴訟法第二特殊研究 1		×	2	1					800	法学研究演習 5		○	2	1			
		民事訴訟法第二特殊研究 2		×	2			1			800	法学研究演習 6		○	2			1	

人 間 環 境 学 研 究 科

芸 術 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 音響芸術専攻
(修士課程)

必修・選択科目を通じて30単位以上（必修14単位、選択16単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う「修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果」の審査と最終試験に合格すること。なお必修科目は、音楽研究1～4、音楽研究演習1～4および芸術学総合研究である。

ナグ ンレ バ ー ド	分 野 ・ 領 域	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分 野 ・ 領 域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目		必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 期 学 分	集 中	秋 期 学 分	集 中							春 期 学 分	集 中	秋 期 学 分	集 中
音楽研究		700 音楽研究1		○	2	1		1	音響芸術科目	500	音響芸術特講(世界音楽系)		×	2	1				
		700 音楽研究2		○	2	1		1			500 音響芸術特講(西洋音楽系)		×	2			1		
		700 音楽研究3		○	2	1		1			500 音響芸術特講(ジャズ・ポピュラー音楽系)		×	2			1		
		700 音楽研究4		○	2	1		1			500 音響芸術特講(音楽・音響メディア系)		×	2	1				
		700 音楽研究演習1		○	1	1		1			500 音響芸術特講(鍵盤楽器系)		×	2			1		
		700 音楽研究演習2		○	1	1		1			500 音響芸術特講(DTM系)		×	2	1				
		700 音楽研究演習3		○	1	1		1			500 音響芸術特講(音楽療法系)		×	2	1				
		700 音楽研究演習4		○	1	1		1			500 音響芸術特講(音楽支援系)		×	2			1		
		700 音楽研究演習5		○	1	1		1			500 音響芸術特講(舞踊系)		×	2			1		
共通		600 芸術学総合研究		○	2	1			演奏創作	500	演奏法1		×	1	1		1		
		600 芸術学特講(現代芸術系)		×	2			1			演奏法2		×	1	1		1		
		600 芸術学特講(社会芸術系)		×	2	1					演奏法3		×	1	1		1		
		600 芸術学特講(メディア系)		×	2			1			演奏法4		×	1	1		1		
		600 芸術学特講(コミュニケーション系)		×	2	1							×	1	1		1		

2025年度カリキュラム表

■ 造型芸術専攻

(修士課程)

必修・選択科目を通じて30単位以上（必修：14単位、選択：16単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う〔修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果〕の審査と最終試験に合格すること。なお必修科目は、「造形芸術研究1～4」、「造形芸術研究演習1～4」および「芸術学総合研究」である。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
造形芸術研究	700	造形芸術研究 1	○	2	1		1		造形芸術科目	500	造形芸術特講(絵画系)	×	2			1	
	700	造形芸術研究 2	○	2	1		1			500	造形芸術特講(彫刻系)	×	2	1			
	700	造形芸術研究 3	○	2	1		1			500	造形芸術特講(製品系)	×	2			1	
	700	造形芸術研究 4	○	2	1		1			500	造形芸術特講(情報系)	×	2			1	
	700	造形芸術研究演習 1	○	1	1		1			500	造形芸術特講(メディア系)	×	2			1	
	700	造形芸術研究演習 2	○	1	1		1			500	造形芸術特講(現代美術系)	×	2	1			
	700	造形芸術研究演習 3	○	1	1		1			500	造形芸術特講(視覚表現系)	×	2	1			
	700	造形芸術研究演習 4	○	1	1		1			500	造形芸術特講(立体造型系)	×	2			1	
共通	600	芸術学総合研究	○	2	1					500	造形芸術特講(感性科学系)	×	2	1			
	600	芸術学特講(現代芸術系)	×	2			1										
	600	芸術学特講(社会芸術系)	×	2	1												
	600	芸術学特講(メディア系)	×	2			1										
	600	芸術学特講(コミュニケーション系)	×	2	1												

体 育 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 体育学専攻
(博士課程前期)

修了要件には下記の要件をすべて満たすこと。
1. 「スポーツ科学総論A (文化社会科学・医科学)」 「スポーツ科学総論B (実践スポーツ科学)」 「体育・スポーツ科学研究法A」 「体育・スポーツ科学研究法B」 および研究指導を受ける教員が担当する「体育学研究1・2・3・4」を修得すること。
2. 合計30単位以上を修得すること。
3. 修士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎科目	500	スポーツ科学総論A (文化社会科学・医科学)		○	2	1				実践スポーツ科学	500	実践スポーツ科学特論A (身体教育)		×	2	1			
	500	スポーツ科学総論B (実践スポーツ科学)		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論B (健康教育)		×	2	1			
研究法	600	体育・スポーツ科学研究法A		○	2	1					500	実践スポーツ科学特論C (コーチング)		×	2	1			
	600	体育・スポーツ科学研究法B		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論D (心理サポート)		×	2			1	
スポーツ文化社会科学	500	スポーツ文化社会科学特論A (哲学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論E (武道)		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論B (歴史学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論F (アダプテッド)		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論C (社会学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論G (ウエルネス)		×	2	1			
	500	スポーツ文化社会科学特論D (心理学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論H (マネジメント)		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論E (政策)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論I (レジャー)		×	2	1			
	600	スポーツ文化社会科学演習A		×	2			1			600	実践スポーツ科学演習A		×	2			1	
	600	スポーツ文化社会科学演習B		×	2	1					600	実践スポーツ科学演習B		×	2	1			
スポーツ医科学	500	スポーツ医科学特論A (生理学)		×	2			1			600	実践スポーツ科学演習C		×	2			1	
	500	スポーツ医科学特論B (バイオメカニクス)		×	2			1		研究ゼミナール	600	実践スポーツ科学演習D		×	2	1			
	500	スポーツ医科学特論C (医学)		×	2	1					700	体育学研究1		○	2	1			
	500	スポーツ医科学特論D (体力学)		×	2	1					700	体育学研究2		○	2			1	
	600	スポーツ医科学演習A		×	2	1					700	体育学研究3		○	2	1			
	600	スポーツ医科学演習B		×	2			1			700	体育学研究4		○	2			1	

2025年度カリキュラム表

■ 体育学専攻

(博士課程後期)

修了には下記の要件をすべて満たすこと。

1. 共通から「スポーツ科学研究理論」を含め4単位以上の修得および研究指導を受ける教員が担当する「体育・スポーツ科学特別研究1・2・3・4」を修得のこと。
2. 博士課程（前期）の単位と併せて合計46単位以上を修得すること。
3. 博士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
共 通	800	スポーツ科学研究理論	○	2	1			
	800	スポーツ科学研究法A	×	2			1	
	800	スポーツ科学研究法B	×	2			1	
専 門	800	高度スポーツ文化社会科学特講	×	2	1			
	800	高度スポーツ医科学特講	×	2	1			
	800	高度実践スポーツ科学特講	×	2	1			
	800	高度スポーツ文化社会科学演習	×	2			1	
	800	高度スポーツ医科学演習	×	2			1	
	800	高度実践スポーツ科学演習	×	2			1	
	800	高度実践スポーツ科学演習	×	2			1	
特 別 研 究	800	体育・スポーツ科学特別研究1	○	2	1			
	800	体育・スポーツ科学特別研究2	○	2			1	
	800	体育・スポーツ科学特別研究3	○	2	1			
	800	体育・スポーツ科学特別研究4	○	2			1	

健 康 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 健康マネジメント学専攻

(修士課程)

「基礎科目」8単位および研究指導教員が担当する「ゼミナール科目」8単位を必修、「専門科目」と「フィールドワーク科目」より14単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春学期	集中	秋学期	集中
基礎科目	500	健康学研究概論A	○	2	1			
	500	健康学研究概論B	○	2			1	
	500	健康学研究法A	○	2	1			
	500	健康学研究法B	○	2			1	
専門科目	500	健康社会政策特論	×	2			1	
	500	地域健康政策特論	×	2	1			
	500	代謝栄養学特論	×	2	1			
	500	応用生命科学特論	×	2	1			
	500	ソーシャルワーク特論	×	2	1			
	500	コミュニティデザイン特論	×	2	1			
	500	子ども家庭福祉特論	×	2	1			
	500	健康体力科学特論	×	2	1			
	500	精神保健福祉特論	×	2			1	
	500	障害者心理学特論	×	2	1			
	500	健康情報解析法特論	×	2			1	
	500	応用健康科学特論	×	2			1	
	500	健康運動心理学特論	×	2			1	
	500	トレーニング科学特論	×	2			1	
ゼミナール科目	700	健康学研究 1	○	2	1		1	
	700	健康学研究 2	○	2	1		1	
	700	健康学研究 3	○	2	1		1	
	700	健康学研究 4	○	2	1		1	
ド フ ワ ー ク 科 目	700	フィールドワーク実習A	×	1		14		
	700	フィールドワーク実習B	×	1				14

理 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 数理科学専攻(数学コース)

(修士課程)

修士課程の修了要件は次のすべてを満たすこと。

- (1) 「数理研究ゼミナール1、2」(必修8単位)、および数学コースの「……学A、B、C、D」(必修8単位)の計16単位を修得すること。
- (2) 数理解科学専攻共通の「……学通論」(選択)および数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)から選択した14単位以上を修得すること。ただし、情報数理学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)のうち8単位を限度として数学コースの修了要件として認める。
- (3) 修士論文を提出して審査に合格すること。

[illegible]

2025年度カリキュラム表

■ 数理科学専攻(情報数理学コース)

(修士課程)

修士課程の修了要件は次のすべてを満たすこと。

- (1) 「数理研究ゼミナールⅠ、Ⅱ」(必修8単位)、および情報数学コースの「……学A、B、C、D」(必修8単位)または「幾何とそのアルゴリズムA、B、C、D」(必修8単位)の計16単位を修得すること。
- (2) 数理学専攻共通の「……学通論」(選択)および情報数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)から選択した14単位以上を修得すること。ただし、数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)のうち8単位を限度として情報数学コースの修了要件として認める。
- (3) 修士論文を提出して審査に合格すること。

分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
ゼミ ナ ー ル 科 目	700	情報代数学A		×	2	1				情 報 代 数 学	600	情報代数学特論 A		×	2	1			
	700	情報代数学B		×	2	1					600	情報代数学特論 B		×	2			1	
	700	情報代数学C		×	2			1			600	情報代数学特論 C		×	2	1			
	700	情報代数学D		×	2			1			600	情報代数学特論 D		×	2			1	
	700	幾何とそのアルゴリズムA		×	2	1				幾 何 と そ の ア ル ゴ リ ズ ム	600	幾何とそのアルゴリズム特論 A		×	2	1			
	700	幾何とそのアルゴリズムB		×	2	1					600	幾何とそのアルゴリズム特論 B		×	2			1	
	700	幾何とそのアルゴリズムC		×	2			1			600	幾何とそのアルゴリズム特論 C		×	2	1			
	700	幾何とそのアルゴリズムD		×	2			1			600	幾何とそのアルゴリズム特論 D		×	2			1	
	700	応用解析学A		×	2	1				応 用 解 析 学	600	応用解析学特論 A		×	2	1			
	700	応用解析学B		×	2	1					600	応用解析学特論 B		×	2			1	
	700	応用解析学C		×	2			1			600	応用解析学特論 C		×	2	1			
	700	応用解析学D		×	2			1			600	応用解析学特論 D		×	2			1	
	700	応用確率・統計学A		×	2	1				応 用 確 率 ・ 統 計 学	600	応用確率・統計学特論 A		×	2	1			
	700	応用確率・統計学B		×	2	1					600	応用確率・統計学特論 B		×	2			1	
	700	応用確率・統計学C		×	2			1			600	応用確率・統計学特論 C		×	2	1			
	700	応用確率・統計学D		×	2			1			600	応用確率・統計学特論 D		×	2			1	
	700	情報数理学A		×	2	1				情 報 数 理 学	600	情報数理学特論 A		×	2	1			
	700	情報数理学B		×	2	1					600	情報数理学特論 B		×	2			1	
	700	情報数理学C		×	2			1			600	情報数理学特論 C		×	2	1			
	700	情報数理学D		×	2			1			600	情報数理学特論 D		×	2			1	
700	離散数学A		×	2	1				離 散 数 学	600	離散数学特論 A		×	2	1				
700	離散数学B		×	2	1					600	離散数学特論 B		×	2			1		
700	離散数学C		×	2			1			600	離散数学特論 C		×	2	1				
700	離散数学D		×	2			1			600	離散数学特論 D		×	2			1		
700	数理研究ゼミナール1		○	4	2				数 学 教 育 科 目	600	教育数学特論A		×	2	1				
700	数理研究ゼミナール2		○	4			2			600	教育数学特論B		×	2			1		
	500	代数学通論		×	2	1				600	教育数学特論C		×	2	1				
	500	幾何学通論		×	2	1				600	教育数学特論D		×	2			1		
教 養 科 目	500	解析学通論		×	2	1													
	500	統計数学通論		×	2			1											
	500	情報数理学通論		×	2			1											
	500	応用数理学通論		×	2			1											

2025年度カリキュラム表

■ 物理学専攻

(修士課程)

「物理学研究ゼミナールA、B、C、D」計16単位を必修とし、併せて30単位以上を取得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2025年度カリキュラム表

■ 化学専攻

(修士課程)

「化学研究ゼミナールA、B、Cの各－1、－2」計12単位を必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

工 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 電気電子工学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
必修 基盤 科目	500	工学倫理知財特論		○	2	1				(光・電子・領域・別発展工学分野)	600	波動光学特論		×	2	1			
	500	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS		○	2	1					600	光化学特論		×	2	1			
	500	電気電子工学特別演習1		○	2	1					600	非線形光学特論		×	2	1			
	500	電気電子工学特別演習2		○	2		1				600	光計測工学特論		×	2			1	
											600	電磁波工学特論		×	2			1	
領域 共通 発展 科目	600	電気磁気学基礎論		×	2	1				(電気・領域・制御工学分野)	600	通信工学特論		×	2	1			
	600	電気磁気学特論		×	2			1			600	固体物性基礎特論		×	2	1			
	600	画像工学特論		×	2	1					600	結晶解析学特論		×	2	1			
	600	基礎物理学特論		×	2	1					600	コンピュータシステム設計特論		×	2			1	
	600	情報通信ネットワーク特論		×	2	1					600	半導体工学特論		×	2			1	
	600	制御工学特論		×	2	1								×	2	1			
	600	デジタル情報処理特論		×	2	1					600	電気システム工学特論		×	2	1			
	600	電気回路学特論		×	2	1					600	電気機器システム特論		×	2	1			
	600	電子回路学特論		×	2			1			600	電気電子材料工学特論		×	2			1	
	600	ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS		×	2			1			600	環境エネルギー工学特論		×	2			1	
(情報・領域・画像・別発展工学分野)	600	生命情報学習特論		×	2	1				600	ロボットシミュレーション特論		×	2			1		
	600	バーチャルリアリティ特論		×	2			1		600	ロボットビジョン特論		×	2	1				
	600	協調型情報システム工学特論		×	2			1		600	システムモデリング特論		×	2			1		
	600	情報数理応用特論		×	2			1		600	電力変換工学特論		×	2			1		
	600	アルゴリズムとデータ構造特論		×	2	1				700	電気電子工学研究ゼミナール1		○	2	1				
	600	神経情報科学特論		×	2	1				700	電気電子工学研究ゼミナール2		○	2			1		
	600	画像解析特論		×	2	1				700	電気電子工学研究ゼミナール3		○	2	1				
	600	リモートセンシング特論		×	2			1		700	電気電子工学研究ゼミナール4		○	2			1		
	600	環境情報特論		×	2			1											

2025年度カリキュラム表

■ 応用理化学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
必修 基盤 科目	500	工学倫理知財特論		○	2	1				(生命化学 発展科目 領域別発展科目)	600	糖鎖工学特論		×	2	1			
		TECHNICAL ENGLISH									600	細胞工学特論		×	2			1	
	500	FOR ENGINEERS		○	2	1					600	免疫生化学特論		×	2	1			
	500	理化学基礎特論 1		○	2	1					600	生体物質生化学特論		×	2			1	
	500	理化学基礎特論 2		○	2			1			600	分子生物学特論		×	2	1			
領域共通 発展科目	600	量子物理学特論		×	2	1				(応用化学 発展科目 領域別発展科目)	600	遺伝子工学特論		×	2			1	
	600	プラズマエネルギー 科学特論		×	2			1			600	生命有機化学特論		×	2	1			
	600	エネルギー変換科学特論		×	2			1			600	医薬品化学特論		×	2			1	
	600	コンピュータ化学演習		×	2	1													
	600	環境工学特論		×	2			1			600	物質化学特論		×	2	1			
	600	有機化学特論		×	2	1				600	元素化学特論		×	2			1		
	600	無機化学特論		×	2	1				600	電子化学特論		×	2	1				
	600	物理化学特論		×	2			1		600	化学熱力学特論		×	2			1		
	600	化学工学特論		×	2			1		600	反応工学特論		×	2	1				
	600	生命化学特論		×	2			1		600	有機反応化学特論		×	2			1		
	600	資源・エネルギー特論		×	2	1				600	天然物化学特論		×	2			1		
	600	機器分析特論		×	2			1		600	物性化学特論		×	2			1		
	600	材料物性基礎特論		×	2	1				600	高分子化学特論		×	2	1				
	600	材料学基礎特論		×	2	1				600	無機合成化学特論		×	2	1				
	600	材料加工学基礎特論		×	2			1		(金属材料 工学発展科目 領域別発展科目)	600	材料物理化学特論		×	2	1			
	600	ENGLISH PRESENTATION		×	2			1			600	材料物性応用特論		×	2			1	
	600	FOR ENGINEERS		×	2						600	材料プロセス工学特論		×	2	1			
									600		接合科学特論		×	2	1				
									600		材料強度学特論		×	2			1		
(原子力 工学発展 領域別発展 科目)	600	原子力熱化学工学特論		×	2	1				自己開 拓科目	600	機能材料学特論		×	2	1			
	600	環境解析科学特論		×	2	1					600	電気材料学特論		×	2	1			
	600	放射線計測学特論		×	2	1					600	鉄鋼材料学特論		×	2			1	
	600	新エネルギー特論		×	2	1					600	材料加工学応用特論		×	2			1	
	600	応用放射線科学特論		×	2	1					600	セラミックス材料学特論		×	2			1	
	600	原子力エネルギー特論		×	2	1													
	600	原子力インテンシブ		×	2	1				700	応用理化学研究ゼミナール 1		○	2	1				
	600	原子炉物理学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナール 2		○	2			1		
	600	核放射化学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナール 3		○	2	1				
	600	放射線生物科学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナール 4		○	2			1		
600	エネルギー材料物理学特論		×	2			1												
600	原子力工学専門講義		×	2			1												

2025年度カリキュラム表

■ 建築土木工学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目14単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から22単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専攻科目																			
分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
必修 目録 基盤	500	工学倫理知財特論		○	2	1				領域別 発展科目 (建築学)	600	シエル・空間構造計画特論		×	2	1			
		TECHNICAL ENGLISH									600	シエル・空間構造設計特論		×	2			1	
	500	FOR ENGINEERS		○	2	1					600	建築構造設計特論・同演習		×	4	2			
	500	建設マネジメント特論		○	2	1					600	建築構造解析特論・同演習		×	4			2	
領域共通 発展科目		ENGLISH PRESENTATION								領域別 発展科目 (建築学)	600	先端建築構造技術		×	2	1			
	600	FOR ENGINEERS		×	2			1			600	建築構造材料特論		×	2	1			
	600	建築非構造材料特論・同演習		×	4	2					600	建築温熱環境計画特論		×	2	1			
	600	建築構造材料特別演習		×	2			1			600	建築視環境計画特論		×	2	1			
	600	建築基礎設計特論・同演習		×	4			2			600	建築設備システム設計特論・同演習		×	4	2			
	600	建築空間計画特論		×	2			1			600	建築パッシブシステム計画特論		×	2			1	
	600	建築家職能特論		×	2	1					600	空調システム計画特論		×	2			1	
	600	材料科学特論		×	2	1					600	建築室内環境計画特論・同演習		×	4			2	
	600	コンクリート工学特論		×	2	1					600	居住環境計画特論		×	2	1			
	600	土質工学特論・同演習		×	4	2					600	建築計画特論1・同演習		×	4	2			
	600	水環境学特論		×	2			1			600	建築計画特論2・同演習		×	4			2	
	600	都市および地域計画特論		×	2	1					600	史的空間計画特論		×	2	1			
	600	都市開発システム特論		×	2			1			600	建築保存・修復計画特論		×	2			1	
	600	交通計画特論		×	2	1					600	建築施設計画特論		×	2			1	
領域別 発展科目 (土木工学)	600	応用力学特論		×	2	1				600	建築設計スタジオ1		×	4	2				
	600	計算工学特論		×	2			1			建築設計スタジオ2		×	4				2	
	600	連続体力学特論		×	2			1			建築設計スタジオ3		×	4	2				
	600	応用水理学特論		×	2	1					建築インテンシティブ1		×	4		54			
	600	衛生工学特論		×	2	1					建築インテンシティブ2		×	4			54		
	600	統計学特論		×	2			1			建築インテンシティブ3		×	4			54		
	600	構造振動学特論		×	2			1			建築インテンシティブ4		×	4			54		
	600	維持・補修工学特論		×	2			1			建築インテンシティブ5		×	2		27			
	600	地盤工学特論		×	2			1		建築インテンシティブ6		×	2			27			
	600	海岸水理学特論		×	2			1		自己開 拓科目	700	建築土木工学研究ゼミナール1		○	2	1			
											700	建築土木工学研究ゼミナール2		○	2			1	
											700	建築土木工学研究ゼミナール3		○	2	1			
											700	建築土木工学研究ゼミナール4		○	2			1	

2025年度カリキュラム表

■ 機械工学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

海 洋 学 研 究 科

2025年度カリキュラム表

■ 海洋学専攻
(修士課程)

総合海洋学科目群より必修科目「総合海洋学特論」を含め10単位以上およびすべての科目群の選択科目より14単位以上、必修科目「海洋学研究ゼミナール1」～「海洋学研究ゼミナール4」の8単位、合計32単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナグ ン バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ン バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
総合海洋学科目群	500	総合海洋学特論		○	2	1		1		海洋生命圏分野科目群	600	分子細胞生物学特論		×	2	1		1	
	500	沿岸環境特論		×	2	1					600	海洋生物化学特論		×	2	1		1	
	500	気候変動特論		×	2	1					600	水族生理学特論		×	2			1	
	500	海洋生態学特論		×	2			1			600	浮遊生物学特論		×	2	1			
	500	海洋総合管理特論		×	2	1					600	底生生物学特論		×	2	1			
	500	水産学特論		×	2	1					600	海棲哺乳類学特論		×	2			1	
	500	海洋資源特論		×	2	1					600	魚類学特論		×	2	1			
	500	海洋科学技術研究特論		×	2			14			600	資源生物学特論		×	2			1	
	500	環境生命科学研究特論		×	1				7		600	水産増殖学特論		×	2	1		1	
	500	アカデミックイングリッシュ		×	2	1		1			600	水産食品科学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論A		×	1		7			海洋地球圏分野科目群	600	大気・海洋物理学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論B		×	1		7				600	地球化学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論C		×	1				7		600	低次生産環境特論		×	2	1		1	
	500	海洋学特論D		×	1				7		600	固体地球物理学特論		×	2			1	
海洋人間圏分野科目群	600	海洋人類学特論		×	2	1					600	海底資源開発工学特論		×	2			1	
	600	海洋ガバナンス特論		×	2	1				600	海洋エネルギー工学特論		×	2			1		
	600	海洋資源管理特論		×	2			1		600	沿岸域工学特論		×	2			1		
	600	環境・開発経済特論		×	2			1		研究ゼミナール	700	海洋学研究ゼミナール1		○	2	1		1	
	600	ロジスティクス特論		×	2			1			700	海洋学研究ゼミナール2		○	2	1		1	
	600	沿岸域管理特論		×	2	1					700	海洋学研究ゼミナール3		○	2	1		1	
	600	水産社会特論		×	2	1					700	海洋学研究ゼミナール4		○	2	1		1	

総合海洋学特論は1年次春セメに履修することが望ましい。